進路指導部だより

令和５年度
第７号

今年度も残りわずかとなりました。保護者の皆様には日々の教育活動におきまして、ご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

今回の進路だよりでは、B部門小学部における進路学習に関する取り組みについて紹介します。様々な学習の中で取り組んでいることが、どのような力につながっていき将来の生活に生かされるのかを例を示してお伝えします。また、裏面の後半部分には３月８日(金)に本校を卒業したA部門高等部22名、B部門高等部５名の卒業生に向けて進路指導部からの送る言葉を載せます。

～B 部門小学部の具体的な取り組みとつながる力～

＜係活動＞

出欠カードを保健室に届ける係になりました。保健室前のカゴまで、カードを落とさないように運ぶことができました。毎日頑張っています。

～つながる力～

係活動は、クラスの一員として継続的に仕事を行います。

自分の役割を意識し、最後まで仕事をやり遂げることで、責任感と達成感を育む力につながります。

＜図画工作＞

はさみや糊を使って、ミノムシを作りました。紙の１回切り、連続切りはもちろん、ピンと張れば、カラーセロファンも切れるようになりました。左手でしっかりと自分で押さえて切ることも忘れずにできるようになりました。

～つながる力～

学習や生活の中で、はさみ、セロハンテープなどの身近な道具を使う経験を重ねると、より上手に、様々な道具が使えるようになっていきます。道具を安全に上手に使えるようになると、好きなものを作る余暇活動や、道具を使った仕事をする力につながります。

＜校外学習・オンライン施設見学・
校内お仕事インタビュー＞

小学部では、校外学習やオンラインによる施設見学、校内で働く人へのインタビューなどを通して、職員の方から仕事内容の説明を聞いたり質問をしたりして、いろいろな仕事について学習をしています。

～つながる力～

自分の身近な施設や仕事について知ることにより、社会生活を送る上で土台となり、進路選択の幅をひろげるための力につながります。

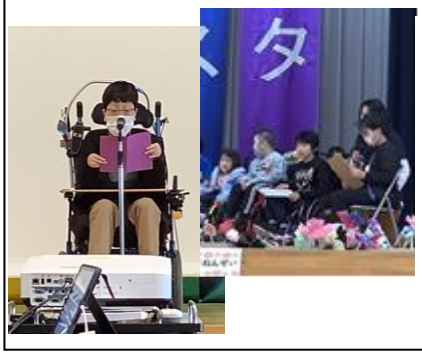
＜委員会活動＞

５年生から、保健委員会、整備委員会の活動が始まります。保健委員会では、各学年で必要な衛生用品の補充をします。整備委員会では、廊下等の掃除を分担して行っています。どちらも小学部全体のために活動しています。

～つながる力～

みんなのために活動することを通して、相手に理解してもらえるように分かりやすく伝えたり、相手から感謝されたりするなどの体験を積み重ねます。その経験が、職場や集団の中で自分の役割を主体的に果たす力につながります。

＜学校・学部行事の運営＞



今年度は、つくばフェスタが開催され、高学年の代表者が開閉会式の進行をつとめました。また、学部の行事についても、活動計画・準備などを友達と協力して行い、自分の役割を果たしています。

～つながる力～

学校・部行事の中で、友達と協力したり、自分から進んで取り組んだりする体験を積み重ねます。将来、社会に出て仕事をする上で、周囲の人と力を合わせたり、相手と調整したりする力につながります。

☆自立に向けてチャレンジし、ステップアップする機会は、日常のありとあらゆる場面にあふれています！

活動の中で、最初は難しいと感じていたことであっても、教師の支援を受けながら繰り返しチャレンジしていくことで、できるようになることがたくさんあります。あきらめずに取り組んだことで、「できた！」「わかった！」という気持ちが自信になります。また、「ありがとう」「がんばっているね」などの称賛や励ましの言葉が、意欲となって、次の課題へ向かう原動力になっています。日々の積み重ねが、将来の進路選択につながる力になっていきます。

ご卒業おめでとうございます。

高等部卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。つくば特別支援学校での学校生活はいかがだったでしょうか。楽しいことやうれしいこと、辛いことや悲しいことなど様々な体験をしてきたことと思います。多くの体験から、スキルとして身に付けたことだけでなく、気持ちの折り合いのつけ方やくじけそうになっても立ち直ることができる「しなやかさ」を育むことができたのではないでしょうか。

４月からは、いよいよ社会人です。これまでの「学校」という環境から皆さん一人一人が選択した「社会」へと進んでいくことになります。ここからが本当のスタートです。道は皆さんの前に開かれています。これからも新しい出会いや経験を大切にして、自分の人生を輝かせていってください。そして、何かのときには元気な姿を後輩たちや私たち教職員へ見せに来てくれたらうれしいです。さらに成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。